

ゆざわまち

あなたと議会を結ぶ架け橋

令和2年
第136号

令和
元年 12月議会

1月26日発行

議会だより

謹賀新年

今年もよろしくお願い申し上げます

12月定例会 12月10日(火)～17日(火)

台風19号被害対応総額3億5,247万円を可決



令和
元年度

一般会計補正予算

一般会計補正予算特別委員会を開催

12月10日(火)

委員長
並木利彦

万年橋付近の現場

第5号 12月10日 本会議 賛成全員 承認

町長専決 (10月18日)

●歳入	財政調整基金繰入金	1億4,292万円
	計	1億4,292万円
●歳出	災害復旧費 (台風19号対応)	
	公共土木、農林土木、その他施設	1億4,238万円
	その他	54万円
	計	1億4,292万円

第6号 12月10日 補正予算審査特別委員会

賛成全員 可決すべき

●歳入	軽自動車税 (環境性能割)	100万円
	国保保険基盤安定負担金 (国・県より)	686万円
	地籍調査事業負担金 (県より)	▲114万円
	財政調整基金繰入金	2億7,053万円
	その他	99万円
	計	2億7,824万円
●歳出	総務費 一般管理費	▲770万円
	国土調査費	▲220万円
	民生費 国保特別会計繰出金	1,328万円
	後期高齢者医療広域連合負担金	289万円
	衛生費 共同浴場指定管理料	200万円
	病院事業会計補助金	5,090万円
	土木費 橋梁修繕、消雪パイプリフレッシュ	▲1,100万円
	物件補償料等	1,100万円
	下水道特別会計繰出金	262万円
	防犯カメラ設置	275万円
	消防費 災害対策費	536万円
	(旧布場スキー場雪崩対策、総合防災情報システム端末更新)	
	教育費 公民館給水ポンプ交換	240万円
	災害復旧費公共土木、その他施設	2億500万円
	その他	94万円
	計	2億7,824万円

主な質疑

Q 総合防災情報システム端末更新とは。

A 県とのテレビ会議を行うため応接室のテレビに設置している機器の更新。

Q 駅西口、東口の防犯カメラは、どこに設置するのか。

A 具体的な設置場所は、電源の工事なども考慮してこれから決定する。

Q 旧布場スキー場雪崩対策の圧雪について、土砂が崩れブルーシートで覆われている場所はどうするのか。

A 崩落個所に水が入らないようシートを被せてあるが、応急復旧として段を切り、急傾斜の部分を除いてシートを撤去する。

Q 公民館管理等業務委託について、現在の状況は。

A 公募により委託業者の募集を行った。選考はこれからなので、現時点では応募のあった業者数等は公表しない。優先交渉権者が決まったから議会にも報告する。

本会議審査

令和元年12月10日【議会初日】

専決処分・一般会計補正予算第5号

台風19号（10月12・13日）被害対応の補正予算。

10月18日町長専決分。約1億4,292万円。（11月5日議員全員協議会で説明済み）

賛成全員 →《承認》

同意・人権擁護委員候補者の推薦

南雲あや子氏（令和2年4月～3年任期）

賛成全員 →《適任》

議案・十日町市との境界確定の訴え

の提起（下図参照）

賛成全員 →《可決》

陳情・河川指定手続不備による損害

継続審査…産業建設常任委員会付託（委員長報告は「不採択とすべき」）

賛成討論 佐藤守正

常任委員会の継続審査を傍聴したが、質疑応答の中では、陳情者の主張を否定する明確な論拠は示されなかった。よって、陳情に賛成する。

賛成少数（1・10）→《不採択》

発議・湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会の設置

発議者…岸野雅人
運営と契約のあり方を考えます。

賛成全員 →《可決》

委員…議長除く議員11名
期限…令和3年3月31日

発議・天皇家陛下御即位賀詞決議

発議者…白井孝雄

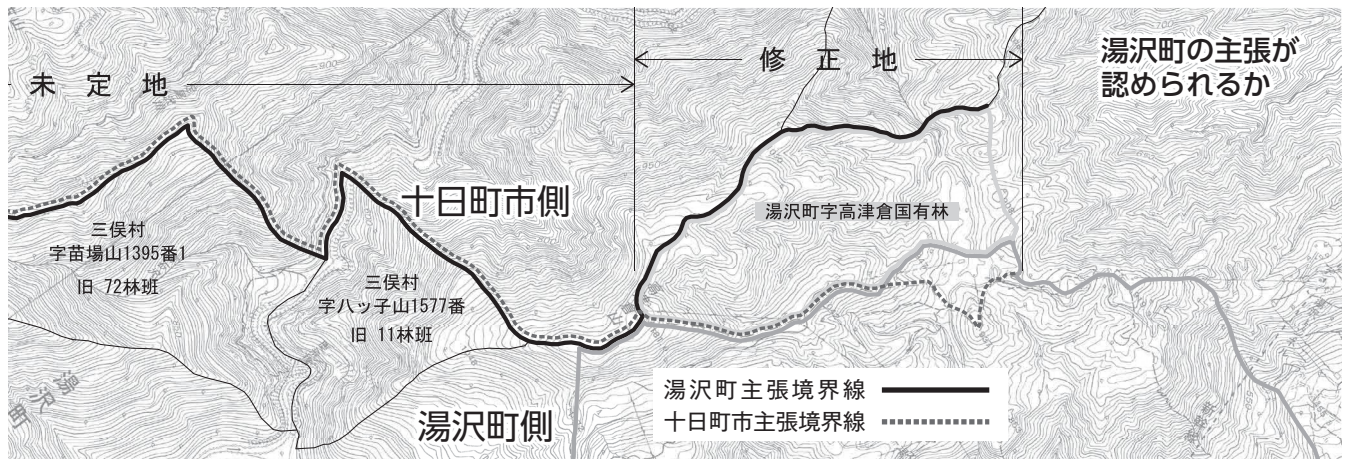
賛成討論 佐藤守正

日本共産党員としての見解を申し上げる。この決議文が、主権が国民にあることを否定していない旨をもって、賛成とします。

賛成全員 →《可決》



湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会を設置します



令和元年12月17日【議会最終日】

▼補正予算審査特別委員会付託分
一般会計補正予算・第6号

賛成全員 →《可決》

▼総務文教常任委員会付託分
町長提出の6議案

それぞれ賛成全員 →《可決》

請願①・30人学級・国庫負担1/2
復元

請願③・「年齢計算二関スル法律」
の改正

それぞれ賛成全員 →《採択》

▼生活福祉常任委員会付託分
町長提出の6議案

それぞれ賛成全員 →《可決》

請願②・免税軽油制度の継続

賛成全員 →《採択》

▼産業建設常任委員会付託分
町長提出の2議案

それぞれ賛成全員 →《可決》

▼請願が採択されたことによる発議
発議3案・請願①②③の各意見書の提出

発議者…各常任委員長

それぞれ賛成全員 →《可決》

それぞれ賛成全員 →《可決》

開会中の常任委員会審査

12月10日(火)

総務文教常任委員会

12月10日(火) 委員長 岸野雅人

議案・湯沢町職員の給与に関する条例の一部改正

例の一部改正

議案・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

議案・地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

法改正や人事院勧告に伴う条例の整備

それぞれ賛成全員

↓ 《可決すべき》

議案・奨学金貸与条例の一部改正

連帯保証人の要件を湯沢町に居住する人からそれ以外に居住する人も可能とする

Q 連帯保証人の支払に及んだことはあるか。

A 過去に数件あった。

賛成全員

↓ 《可決すべき》

議案・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

正

議案・家庭的保育事業等の設備及び、運営に関する基準を定める条例の一部改正

保育無償化に伴う条例の改正

それぞれ賛成全員

↓ 《可決すべき》

請願・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担1/2復元に係る意見書

紹介議員…並木利彦

賛成全員

↓ 《採択すべき》

請願・「年齢計算ニ関スル法律」の改正についての意見書

紹介議員…並木利彦

Q 法改正が行われた場合、関連して改正が必要となるものはどれくらいあるのか。

A 改正を要するものはそれほど多くはないと考えている。

賛成全員

↓ 《採択すべき》

生活福祉常任委員会

12月10日(火) 委員長 高橋政喜

議案・湯沢町税条例の一部改正

法改正に伴う「単身児童扶養者」を非課税措置とするための改正等

Q 未婚の場合も単身児童扶養者となるのか。

A 婚外子も含まれる。

賛成全員

↓ 《可決すべき》

議案・印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正

法改正などに伴う条例改正

賛成全員

↓ 《可決すべき》

議案・病院事業の設置等に関する条例の一部改正

一般病棟の40床を地域包括ケア病床に転換するための条例改正

Q 一般病棟の再編統合の検討が必要とされていたが、地域包括ケア病床は検討の対象とはならないのか。

A 病床の機能が急性期から回復期に変わるため、再編統合の対象から外れる。

賛成全員

↓ 《可決すべき》

議案・令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

議案・令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

それぞれ賛成全員

↓ 《可決すべき》

議案・令和元年度病院事業会計補正予算(第2号)

修繕工事の債務負担行為、指定管理協定に基づく補助金の増額

賛成全員

請願・免税軽油制度の継続

紹介議員…白井孝雄

賛成全員

↓ 《採択すべき》



町立湯沢病院は再編統合の対象にはなりません

産業建設常任委員会

12月10日(火) 委員長 田村計久

議案・都市公園条例の一部改正

中央公園、カルチャーセンターの利用料金見直し

陸上競技場などの利用料金の値上げは、夏期合宿にも影響するのではないか。

20年近く利用料を改定していない。消費増税などもあるので理解してほしい。

賛成全員 ↓ 《可決すべき》

議案・令和元年度下水道特別会計補正予算(第2号)

処理場管理費の減など

賛成全員 ↓ 《可決すべき》

湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会

12月10日(火)

指名推薦により、委員長に宮田眞理子委員、副委員長に佐藤守正委員を選任。

湯沢高原の運営と契約の在り方に関する事項を閉会中の継続審査案件に決定。

議員表決結果報告

令和元年12月定例議会

- 採決結果の記載方法(可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合)
- 表決結果の記載方法(議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠)：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	渡辺千恵	和田一郎	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	関忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	白井孝雄
12月定例会	令和元年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町と十日町市との境界確定の訴えの提起	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員の給与に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係町条例の整備	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町都市公園条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町奨学金貸与条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度一般会計補正予算(第6号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度下水道特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度病院事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員発議	湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会設置	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	天皇陛下御即位に当たっての賀詞	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	免税軽油制度の継続を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「年齢計算二関スル法律」を改正する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情	河川指定手続不備による損害についての陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	免税軽油制度の継続を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「年齢計算二関スル法律」を改正する意見書の提出を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町政を問う

岸野雅人 7

Q 旧珍来様前の交差点改良計画、もっと情報開示と意見聴取を

関 忠夫 8

Q 台風19号対応での課題は

白井孝雄 9

Q クマ・サル対策の強化を

佐藤守正 10

Q 新ゴミ処理施設建設は何処まで進捗しているのか

和田 一郎 11

Q テニスコートの「オムニコート」化を

並木利彦 12

Q スポーツ・レクリエーション施設の新設、改修は

宮田 眞理子 13

Q 婚姻届の受付、更なる祝福を

南雲 好幸 14

Q 湯沢学園のコミュニティスクールとは

田村 計久 15

Q 温泉通り、歩行者の安全確保を

高橋 政喜 16

Q 芝原三俣線の土砂崩れ、天災か人災か

渡辺 千恵 17

Q 今回の台風時の情報伝達は、十分だったか

南雲 正 18

Q 公園等の公共施設を民間に開放し、観光の活性化を



Q 旧珍来様前の交差点改良計画、 もっと情報開示と意見聴取を & 岸 野 雅 人



A 懸案事項の解決、任されていること



答弁 ①以前からの町内要望。②6月19日県公安

質問 ①着想はいつ。②警察との会議はいつ。

9月25日の議員全員協議会
まで、工事概要の説明はな
かった。そこで示された「改
良計画平面図（案）」への意
見には「警察と会議済みで、
変更できない」とのことだっ
た。
西側から町道を下っての左
折が、もう少し緩やかになら
ないものか。また「もっと情
報開示と意見聴取を」との思
いから問う。

委員会。7月10日南魚沼市警
察交通課。

質問 ①改良平面図案の作成
者は。②外部の意見は
聴いたか。③用地取得の目処
はいつか。

答弁 ①建設課とコンサルタ
ント会社。②南魚沼地
域振興局維持管理課。③用地
取得の目処は昨年。

質問 現計画の町道北側部分
に幅広の路側帯を設
け、車道と交差点部分を南側
にずらすような考えは、警察
に提案したのか。

答弁 していない。安全を考
慮した。

質問 今後と同様な進め方
で、行政運営をしてい
くつもりか。

答弁 なるべく開示してき
た。これは懸案事項の
解決、法令の制約もある。任
されていることの責任。
行政と議会は車の両輪、自
由闊達な議論は大切。

Q せきば 堰場ローソン様前交差点の 改良計画は

A 県道・町道ともに県の施工 計画はある

県道は、昨年度から県の街
路事業となっています。町道
と交わる、問題の多い交差点
が、どう変わる予定なのかを
問う。

質問 県道の車道拡幅や車線
増設などはあるのか。

答弁 計画概要があれば議会に示せ。
車線の片側は3・5m
から路肩を含み4・5
mに。車線の増設はない。県
の町内説明会は済んでいる。
概要は示せる段階で示す。

質問 町道部分の改良計画は
あるか。



堰場ローソン様前交差点

答弁 交差点を新潟より振
り、荒谷1号線と直行
する計画とのこと。改良後の
南田中線には右折車線が増設
される予定。施工は県。

Q 通学路の横断歩道、速やかな塗り直しを

A 県道は危険性を県に訴え、要望する 町道は春に点検、速やかに塗り直す

Q 台風19号対応での課題は

& 関係 夫



A 事前から対応策を協議し大過なく 対応ができたと思っている



質問

湯沢町では台風19号の接近前から自主避難所の設置を検討し、発電機等の準備や職員の体制など開設準備を行ったため、接近当日に滞りなく対応することができた。

また、国道17号線の通行規制に備えて浅貝・二居・三保で避難所の準備をしたことで、地域の住民は安心して台風をやり過ごせたのではないかと考えている。

町には関係機関から様々な情報が提供されるが、その情報を町民へ上手く周知することができなかったという反省点があるようだ。

町長は今回の台風19号の対応を踏まえ、どのような課題があったと考えているのか伺います。

答弁

人的被害はなかったが、古野蓬線の崩落、湯沢高原での土砂崩れ、かぐらスキー場の仮設橋の流出などがあった。

関係機関から寄せられる情報の取扱いや、災害対応が長

期にわたる場合の職員体制など、今後の課題として再検討したい。

質問

避難勧告発令後、町が開設した避難所は5箇所であった、開設はこれでよかったと思うか伺います。

答弁

臨機応変に対応できたと思っている。避難所が適正だったかは検討する必要がある。

今後は避難所として、ホテルやマンションを使用する事ができないか関係者と協議していきたいと考えている。

質問

刻々と深刻化のなか、地域名を明記した緊急速報メールやJアラートも使い勧告を発令したことは評価したい。

また、町民は防災ラジオの必要性を実感できたのではないかと考えている。

警戒本部の設置、避難勧告など高い警戒レベルの情報を発

信する時には、町長が自らの声でとるべき行動を促すことが有効かと思うが如何か。

答弁

今回は適切に対応したと思っている。避難指示は町長が発令した。

災害時には状況を判断して、指示や勧告を出さなければならぬ。

また状況にもよるが町長自ら防災ラジオで呼びかける。



避難所（宿場の湯）



避難所（旧三俣小学校）



避難所（浅貝公民館）



Q クマ・サル対策の強化を

しら い た か お
白 井 孝 雄



A 全力で取り組む

質問 今年のこれまでのクマ・サル・イノシシ・シカの捕獲数とサルの発信機の取付け状況は。

答弁 これまでの捕獲数は、クマ14頭、サル29頭、イノシシ・シカ0頭。今年の発信機取付けは2個でトータル14個となった。

質問 今年のクマの出没数は、これまでに経験したことのない状況であった。幸いにも湯沢町での人的被害はなかったものの、いつクマに襲われてもおかしくない状況であった。今後の町の対策と考え方を伺う。

答弁 町民がクマと遭遇しないよう、広報車等により周知したい。また、中山間地の整備をして、出没しないようにする。警察、猟友会と

もしっかりと連携していく。

質問 来年の冬眠あけ、雪に足跡が付く時期の駆除に力を入れてはどうか。

答弁 決定的な対策は難しいが、一つ一つ対策を積み上げていく。猟友会の会員が減少しているが、しっかりと協議していく。

質問 現時点では電気柵の設置が被害防止には一番有効と思う。普及にもっと力を入れ、設置・撤去を手伝ってくれる人材の育成を図ってはどうか。

答弁 電気柵もかなり設置されてきたが、今後も普及のため補助金等による支援をしていく。

設置・撤去の人材育成をシ
ルバーとも協議し進めていく。

Q ワールドカップを成功させよう

A SAJ・県と協力して最善を尽くす

質問 ワールドカップが2か月半後にせまってきた。11月には事務局も県庁から湯沢町役場内に移転した。主体はあくまでも県・SAJではあるが、ワールドカップの経験・実績のある湯沢町がこれからは大いに協力・助言をしていかなければならないと思うがどうか。

答弁 県・SAJ・湯沢町で三者協定を結び協力してきたが、2か月半に迫ってきたので、成功に向けてさらに連携し、湯沢町にプラスにな

るようにしていきたい。

質問 湯沢学園の生徒に観戦してもらい、世界最高峰の大会の感動を味わってもらってはどうか。

答弁 2月22日(土)、第1日目の大回転を観戦してもらうことになる。



Q 田中・平沢線側溝改修の継続を

A 現地を見て検討する

質問 町道田中平沢線の側溝工事が行われ、上流部では完了の目処がついた。引き続き下流部側(田中地区)の改修も必要と思うがどうか。

答弁 田中町内会とも協議し、機能が損なわれていないか、現地をしっかりと見てみたい。



Q テニスコートの“オムニコート”化を & 和田 一郎



A 優先順位を考慮しながら 検討していきたい

質問

テニスコートの今のニーズはハードコート

ではなく、オムニコートにある。合宿誘致等の観点から、テニスコートのオムニコート化について提案するがどうか。

答弁

「湯沢町都市計画施設長寿命化計画」を策定し、国の交付金を活用しながら修繕を進めている。当面の10年は、災害時に代替施設となるカルチャーセンターの設備系の補修、安全性が低いとされた公

園施設の補修などが予定されている。

一方で、お客様に来ていただくための努力のなかで、テニスコートのオムニコート化については考えないといけないのかもしれない。

現状の優先順位はカルチャーセンターであることをご理解いただき、そのなかで、今後についてはテニスコートのオムニコート化についても考えていきたい。

Q

救急車の三国地区への配備を

A 現体制の維持を通じて 柔軟な対応

質問

湯沢消防署に配備されている救急車2台のうち、体制の組み替え等を行うことで、1台を三国地区に配備することは出来ないか。

答弁

消防署の業務は救急業務だけではなく、各種施設への立入検査や水利の維

持管理、日々発生する様々な事案への対応など複数の業務を兼務して対応している。

仮に三国地区へ救急隊1隊を常駐させた場合には、他の業務に大きな支障が出る可能性がある。

12月から3月まで救急要請

Q

郷土愛について

A

教育委員会に働きかけたい

質問

子どもたちが自分の生まれ育った湯沢町に誇りを持つこと、郷土愛を深く育ませることが大切である。

地域に根ざした学習の一環として、実際に町内に出て郷土のことを知るような取り組みをすることが出来ないか。

答弁

現在、湯沢小・中学校では総合的な学習の時間で、地域のお祭りへの参加や資料館の見学、山の動植物の観察などの学習に取り組み、それらを生かした観光ボランティア活動なども実施している。

今後も現地学習を含め、郷

が増えること、消防署から遠いといった地理的状況などを考えると、出張所の設置等について望まれることは理解で

きるが、町全体の体制やバランズ等を考えると、現体制の維持を通じて柔軟に対応していきたいと考える。



湯沢町重要文化財池田家の活用を

土学習の充実を通じて、子どもたちが湯沢町に誇りを持ち、愛着心が育まれるよう、教育委員会に働きかけていきたい。

Q スポーツ・レクリエーション施設の新設、改修は

な み き と し ひ こ
並 木 利 彦



A 行政をあてにせず、民間で対応してほしい



経産省発表の10月の商業動態統計は、小売業販売額は前年同月比7・1%減の11兆900億円となった。消費税増税に加え、台風19号の影響で3カ月ぶりの減少となった。町の人口の増加、維持は、今まで以上に予算が必要。移

現在の現在の国の経済状況は、朝日新聞（抜粋簡略）によると国の税収が、当初から2兆円超下ぶれすることのこと。税収減対応として、政府は2兆円規模の赤字国債を今年度補正予算で追加発行する。借金頼りの厳しい財政状況が鮮明になった。

質問

町長の予算編成方針の中で「経済活動も徐々に活性化の兆しが見える」「町の財政は経常収支比率が91・7%と硬直化が進んでいる」とある。

A

総合戦略を確実に反映させる

Q

予算編成の方針は

住定住をされ、町で起業された方々が当町で稼げなければ、また、他に移住されるかもしれない。
町は観光立町宣言「君と一緒に暮らす町」としている。しかし、ここ2～3年は、「君

予算編成方針

<目次>

- P 1 令和2年度当初予算編成方針
- P 7 予算要求について
- P 11 評価調査兼主要事業要望書記入要領
- P 13 〃 記入例
- P 17 物件費単価表
- P 18 非常勤特別職の報酬及び費用弁償
- P 19 日々雇用賃金 通勤費 シルバー人材センター委託料等

湯 沢 町

令和元年 10 月

と一緒に稼ぐ町」くらいの政策を考えていただきたい。町にお金を回す政策を前倒しでやって頂きたい。
町の年間観光客数は430万人。観光客数での過去との比較は、多種多様な職業や、本店、支店等、会社形態も昔と違い税収の予測がつかない。430万人のお客様がどこにどれだけのお金を落とし、町にどれだけの税金が落ちるのかで、町の税収が変わる。

答弁

人口政策も大事であるが、ここ2～3年は、強烈なカンフル剤が町には必要。ふるさと納税も「東京オリンピックの収支次第」で大きく変更される可能性がある。どのような方針で来年度の予算編成を行うのか。

新たな総合戦略にかかげられた方針を確実に反映させる予算とする。



Q 婚姻届の受付、更なる祝福を

みや た ま り こ
宮 田 眞理子



A 実施に向け取り組む

質問

職員行動規範により、職員の意識も高まり、窓口の対応も親切で柔らかいものになっていると感じる。

湯沢町役場で婚姻届等おめでたい届けを受理する際は、笑顔で「おめでとございませう。」と祝福をしていると聞いている。

更に町としても祝福の気持ちを伝えられる手法をとって欲しい。若い方たちは携帯を使いSNSなどで盛り上げることができる。

そのお手伝いができるようにウェディングブードのバックボードを用意するなどの手法をとってはどうか。

答弁

お祝いとしては、婚姻届のデザイン化・婚姻証の発行・バックボード前での記念撮影・記念品等が考え

Q

婚姻届を提出する方々をもっと祝福する手法を

A

実施に向けて取り組んでいく

られる。婚姻届は当町に住所を有する方はもちろん他の自治体に住所がある方も提出することが出来る。

フジロックに合わせて届けを出しに来る方も毎年数組いると聞いている。どのようなお祝いの手法が効果的か、実施に向けて取り組んでいく。



Q

災害時の授乳支援並びに母子に必要な物資の備蓄も

A

徐々に備蓄品目を増やしていきたいと考えている

質問

10月25日に内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（被災者行政担当）・内閣府男女共同参画総務課・厚生労働省子ども家庭局母子保健課より、各都道府県・保健所設置市・特別区の各担当宛てに「災害時における授乳の支援並びに母子に必要な物資の備蓄及び活用について」の事務連絡があった。

町としてペットボトルの水や、育児用のミルク等の備蓄をする用意はあるか。

答弁

町ではアルファ米や乾パンなど主食の非常食の備蓄はあるが、育児用ミルクまでの備蓄はできていないのが現状である。



現在備蓄されている非常食

5ℓの水を入れる袋は6,000枚ある。
今後は育児用ミルクや水等、徐々に備蓄品目を増やしていきたいと考えている。
全ての備蓄は困難であるため、まずは家庭でそれぞれの家にあった三日分の備蓄を推奨したいと考えている。

Q 湯沢学園の コミュニティスクールとは & 南 雲 好 幸



A 地域の声を活かす仕組みであり、 地域とともにある学校づくりが目的



質問 学校運営協議会の仕組み、目的・役割とは。

答弁 地域の声を活かす仕組みであり、地域とともにある学校づくりを目的。

役割は、学校運営の基本方針を承認。運営に関することや教職員の任用に関する意見を教育委員会又は、校長に述べられる。

質問 一般町民の教育に関する相談窓口が分りづらい。広報はどうなっているか。

答弁 子育てや学校教育に関わる相談は、教育委員会に頂きたい旨の周知を毎年広報ゆざわで案内している。しかし、まだ相談しにくいという声があれば、一層相談し易い環境を整えるよう努めたい。

Q 次期総合戦略に盛り込むとの 湯沢学園を活かした発展策と 推進会議の進捗状況は

A 12月の全員協議会に報告する よう準備中

質問 ①前回の総合戦略の中で湯沢学園の魅力をどう表現したか。②具体的な対外発信の方法は。③次期総合戦略推進会議での進捗状況は。

答弁 ①教育環境が整っている。全国の公立学校でも珍しい保小中一体型施設での連携の中で、小1プロブレム、中1ギャップが起きにく

い教育環境である。

②移住定住支援ポータルサイトや移住定住相談用パンフレット、都内での湯沢で幸せになる移住相談会等で発信。

③答申が出た。12月議会最終日の議員全員協議会にて報告できるよう準備中。

Q 万年橋付近の水害について

A 管理者に要望してゆく

質問 9月の一般質問で触れたが、台風19号により万年橋付近が被害を受けた。フィッシングパーク上流から河床が削られ、水道の取水管と万年橋の水道管も破損。水遊びに降りる道も崩壊。明治24年の洪水で添名段下一面が川原と化した。この時祀った水除け神明大神宮の祠がフィッシングパーク向かい側にある。

この場所は数十年に一度氾濫する危険箇所であり、町道の危険も含め、上流から万年橋付近までの護岸と河床固めを県や国へ積極的に働きかけて頂きたいが町の意志を伺う。

答弁 砂防指定地内で未だ河川改修がされていない区間。河川管理者の県や直轄砂防の湯沢砂防事務所に対し、河川改修、護岸整備について要望をしてゆく。



河床固めの働きかけを



水除け神明大神宮の祠

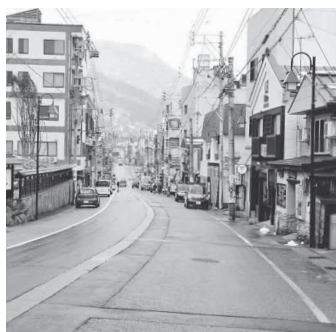


Q 温泉通り、歩行者の安全確保を

た む ら か ず ひ さ
田 村 計 久



A 速度順守指導をお願いしている



温泉街

質問

温泉通りの景観整備事業が着手された。かねてからの課題である①駐車違反、②走行車両のスピード対策、③お客様の駐車場対策。これらに対する町の取り組みはどうか。

答弁

①個人については個々に駐車場を確保してもらい、お客様には町営駐車場の利用を検討し、違法駐車をなくして安心して歩いてもらう。

②町内、三俣、三国方面の事業所に速度順守指導をお願いしている。

③滝沢駐車場、夏季は無料開放、現状冬季は湯沢高原が管理しているので、話し合いが必要。スキー場の駐車場は今後議会と検討する。

Q

町の総人口と観光客の入込数の分析は

A 人口減少は着実にゆるやかになっている

質問

令和元年6月の人口は8,031名。内訳はマンション居住者1,314名（毎年増加）、一般住宅居住者6,717（毎年100名〜120名減少）。

①広報では、「社会増や県内1位の転入率など、人口減少は収束改善傾向にある」とあったが、マンションへの転入が、主流でその多くは60歳以上（高齢化率47%）。これまでの一般住宅居住者は大幅な減少が続いている。10年後の対応など内容を明確に記載するべきではないか。

②「社会増と活発な現役世代の転入で経済活動が活性化、回復傾向」とあるが、ここ5年間、現役世代は年々減少している。景況判断を回復傾向とした根拠は何か。

③「観光客の入込数431万

人」は、他自治体が羨む数字だが、町の経済はこの10年大きく衰退している。町全体に活気を呼ぶ観光政策、住んでいる人のための街づくりが必要でないか。

答弁

①現状では人口減少は着実に緩やかになっている。社人研も湯沢町の人口予想を上方修正した。様々な戦略と取り組みの効果が出て

いる。

3月末の人口分析だけでなく、新潟県の人口移動調査や国勢調査などを参考に広報した。

②新たなホテルの進出や居酒屋の新店、移住者の喫茶店オープンなどを景況判断の材料とした。

③入込の減少は我が町だけではない。町の経済状況は理解している。今後も観光を主軸に行政がどこまでできるか判断し、民間の事業を後押ししていく。

Q

放課後児童クラブの課題解決を

A

現状で対処する

質問

令和2年度の入所募集要項の条件はこれまでと変わらない。実績を踏まえ改善の努力をとした町長の取り組みは何か。

答弁

人材不足で増設は難しい。いろいろ検討しているが現状で対処するしかない。

Q 芝原三俣線の土砂崩れ、 & 天災か人災か

た か は し ま さ き
高 橋 政 喜



A 比較的もろく、崩れやすい地質 である

質問 台風19号被害報告に、芝原三俣線の土砂崩れの報告がある。同場所での被害は今回だけでない。この場所の土砂崩れには、他に原因があるのではないか。

答弁 大雨が降ると道路から側溝に溢れた水が路面を流れ、路肩に集中する地形であるため、道路側溝を拡幅すれば緩和できるかもしれない。山地であり道路幅も狭いため、良い対策がないか検討している。

質問 台風の接近が事前に判れば、対策しておくべきではなかったか。

答弁 職員も頑張っている。優先順位を決め対応を進めている。

質問 災害警戒本部の設置にあたり、基準や要綱はあるのか。

答弁 要綱は設けていない。災害が発生する恐れのある時には、地域防災計画に基づき、副町長を本部長とする災害警戒本部を設置する。

質問 条例、要綱を改正するつもりはあるか。

答弁 災害有事に対応できる組織はできているとは思いますが、指摘を受けて見直しが必要なものは見直していく。

質問 自主避難所は、どのような基準で設置されたのか。

答弁 設置基準は無いが、台風19号は非常に大型であるとの情報から、自宅で過ごすことを不安に思う一人暮らしや高齢者世帯のことを考え、自主避難所を設置した。

質問 浅貝地区の避難所は最適と考えているか。

答弁 避難所の配置が適切かどうか、今後も検討が必要と考えている。



浅貝公民館



芝原三俣線、土砂崩れ現場



古野蓬線、土砂崩れ現場



三俣地区の仮橋



Q 今回の台風時の情報伝達は、 十分だったか

わた なべ ち え
渡 辺 千 恵

A 今回の反省点を踏まえて 改善したい

質問

台風時の情報伝達は、防災ラジオ、緊急メール、広報車等で十分伝わったのか。

交通情報などの細やかな情報も流せないものか。

答弁

防災ラジオの有効性を確認できたが、電波が弱く届かないところもある。消防サイレンスピーカーなども使い情報伝達を改善したい。

Q

早く、正確な情報を

A

連携を密にして伝えたい

風水害、道路状況も国交省などと連携を密にして伝えていく。

質問

ゴミカレンダーのような誰もが一目でわかる防災マップを地域ごとに作成できないか。

答弁

今回見直しが必要な場所を踏まえて、どのようなことができるか考えていきたい。



湯沢町地域防災計画《概要版》は
もっとわかりやすく

Q

人口減少対策に、
若者のUターン促進を

A

次期総合戦略を策定中

質問

湯沢町では企業誘致の取り組みが行われているが、それと並行して湯沢町での独自産業化を考えてみてはどうか。「生産・加工・販売」など、あらゆる業種が起業しやすい環境を整備し、「起業」が「企業」になれるようバックアップして頂きたい。

一気に人口を増やすことは難しいかもしれないが、長い目で少しずつでも人口が増えるような仕組みも必要なのではないか。あらゆる目線からの取り組みにチャレンジして欲しいがどうか。

答弁

現在、次期総合戦略を策定中で、答申を踏まえて検討したい。

質問

新幹線通勤は湯沢では職種を選べない若者にとって必要なもの。

現在1か月約15万円の定期

代を通勤限定定期として安くできるようJRに働きかけられないか。

答弁

かなり難しい。

質問

子どもは高校卒業後に一番お金がかかる。子ども達が専門学校などへ進んだ後、湯沢に戻り働いてもらえる取り組みをしてはどうか。例えば現在湯沢病院でも取り組んでいる看護師確保のための学費補助のように、介護士、観光業、建設業、保育士などを湯沢町で3～5年働くことを条件に、企業と連携して学費を補助できないか。

答弁

公平、公正という面での議論した上で検討したい。

Q 公園等の公共施設を民間に開放し、観光の活性化を

&

なぐも 雲 正



A パーク PFI を含めた民間活力の導入を考えたい



質問

法改正で、公園に民間が係わるハードルが下がり、地域の特徴を取り入れた公園が全国各地で生まれている。

公園を住民の憩いの場としてだけではなく、観光客などにも楽しんでもらい町の魅力を高めるためには、市街地に近い都市公園や児童遊園・小規模なポケットパーク等の活用ルールを定め

て民間へ開放し、新たな経済活動の芽を生み出し観光客のニーズに応え、公園が地域の魅力発信の場として賑わいづくりの核となることも考えられるかどうか。

答弁

民間活力による公園の利用と賑わいづくりを検討してみたい。
都市公園に民



市街地の都市公園（主水公園）

間の有力な投資を誘導し、町の財政負担を軽減しつつ、公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図ることが期待されるので、パークPFI等を含めた民間活力の導入も考えてみたい。

Q

文化・歴史の底上げで、地域の活性化を

A

法改正を受け検討を進め、歴史文化を生かした地域活性化に取り組みたい

質問

「文化は人を育て、地域を元気にする」というまちづくりの指針が、議論されている。地域の文化は、人々が生活の中で脈々と受け継ぎ、創意工夫を加えながら蓄積したものであり、我が町にも誇れる文化と歴史が数多くある。

町長は2期目のスタートに、力強く歴史文化の振興に取り組まれることを約束された。

特に、懸案だった童画美術館の任期中の建設をはじめとして、三俣脇本陣池田家の活用、早津先生の湯沢のかやぶき民家の寄贈等に取り組みまれてきたが、いずれも今後の展開を考えると中途半端な状況

である。

現状と町長の「文化・歴史の活用による地域の活性化」についての見解は。

答弁

三国街道脇本陣跡池田家の譲渡を受け、管理委託をして来館者対応してきた。

早津先生の作品も寄贈頂き、雪国館に展示した。

童画作品についてもアンケートを実施し、個人商店、民宿などへの貸与に9割以上の賛同を頂き、今後の作品対応について検討を進めている。観光部局などでも文化財を活用できるよう、次年度に向けて条例改正などの検討を進め、歴史文化を生かした地域活性化に取り組んでいきたい。

議員全員協議会

11月5日【第8回】

▽健康福祉部

◆湯沢病院一般病棟の転換

一般病棟を地域包括ケア病床に転換した場合のメリットとデメリット、今後のスケジュール及び転換した場合の利用者負担等について説明があった。

▽議会

◆湯沢高原ロープウェイの契約更新

12月議会で特別委員会を設置する方向

◆基本条例等の検証

議会運営委員長の取り扱いとする。

◆その他報告

○総務部

台風19号被害に関する一般会計補正予算専決処分（10月18日分）の概要説明があった。

○産業観光部

プレミアム付き商品券販売窓口で過大収納があった。不明の場合、雑入にて処理する。

12月17日【第9回】

▽総務部

◆神立高原の裁判結果

湯沢町の全面勝訴。資料に基づき経過と弁護士成功報酬等について説明があった。

◆次期総合戦略 ※

これまでの経過と今後のスケジュール、人口ビジョンの変更ポイントと総合戦略の新規事業等について説明があった。

◆企業誘致（上中子町有地）

企業名、企業の概要等について説明があった。

▽地域整備部

◆立地適正化計画 ※

立地適正化計画（概要版）の提示と説明があった。

◆その他報告

湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会を1月下旬に開催予定。

※印については、1月に全員協議会を開催し、議会として意見を取りまとめる。

産業建設常任委員会 管外視察報告 委員長 田村計久

湯沢町の基幹産業である観光の今後の在り方について考え、四季を通じて訪れたくなる町として必要とされるものは何かを学ぶことを目的として、DMOの取組みや街並み環境の整備、地域のブランド化に力を入れている先進地を視察しました。

【10月8日（火）】福島県いわき市

一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

・DMOの取組みと観光振興について

観光まちづくりビジョンを策定し、日本版DMOに登録、地域が一丸となった観光振興の取組みについて伺いました。湯沢町でのDMOも、町全体で考えるのかエリアごとに分担して考えていくのかが重要であり、一般住民の参加も大切なことだと感じました。

【10月9日（水）】山形県金山町

金山町役場 環境整備課

・街並み景観の整備について

「街並み（景観）づくり100年運動」を提唱し、景観に配慮した統一感のある街並みが整備されています。湯沢町でも地区ごとの

特性を活かしたまちづくりを行うため、参考とできるのではないかと考えました。

山形県尾花沢市

銀山温泉（尾花沢市観光物産協会）

・街並みと観光振興について

風格ある木造旅館が軒を連ねる温泉街は季節により様々な表情があり、情緒ある温泉街の整備と景観の保全が行われていました。湯沢温泉とは立地条件等で隔たりがありますが、湯沢町でも街並みに対する構想が必要なのではないでしょうか。



【10月10日（木）】山形県米沢市

米沢市役所 米沢ブランド戦略課

・米沢ブランド戦略について

産官学と市民が連携し、産品やサービス、観光、文化など様々な領域での品質向上によって米沢全体の高付加価値化を目指して取り組んでいます。湯沢町でも雪や魚沼コシヒカリ以外にもブランドとして取り組める素材はあるものと思います。

閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会

11月1日

- 全国学力テスト結果を受けての対応
- 子育て世帯の生活実態調査からの課題検討状況
- 幼保無償化と給食費等への対応状況
- 防災訓練の評価と課題

今回から町民参加型とした。

● 台風19号への対応と被害

- 人的被害なし、物的被害は大きなものがあつた
- 緊急放水が必要なダムはあつたか。
- ダム管理者からの連絡はなかつた。
- 三保避難所の「装備・備品・備蓄」がさびし過ぎないか。

● 孤立想定時の備蓄には不足を感じた。予算との関わりはあるが、厚くしていきたい。

● 今年の予算編成方針とスケジュール

● 屋内児童遊園

● リラックスルームでの飲食の可否は。

● 飲食は保護者のコミュニケーションのためもある。魚沼も南魚沼もイートインスペースがある。

● 不特定多数の利用、利用者の登録は。カルチャーセンター窓口に受付簿を設置する。

11月5日

〈管内視察〉

● 湯沢発電所（発電所建屋、変電建屋などの施設を見学）

生活福祉常任委員会

10月25日

● 湯沢地区の福祉バス、路線バス運賃助成事業

現状の運行体制、利用実績等。三国方面は利用が多いが、湯沢地区は乗車数が少ない。利用者の増加に繋がるよう、運行時間や停留所の見直しを予定している。

〈管外視察〉

● 障がい者支援施設（まきはたの里）

● 養護老人ホーム（魚沼荘）

↓それぞれの施設の行っている各事業、入所者・利用者数等の状況の説明を受けた後、施設内を視察。

11月25日

● 湯沢病院との意見交換

リハビリ機能の充実への取り組み等

● 地域包括ケア病棟への転換により、統廃合の検討が必要とされる医療機関の対象からは外れるのか。

● 県に確認し、転換によって対象外となると認識している。

● 総合福祉センターにおけるレジオネラ菌検出に伴う対応

● 介護予防事業の利用状況

● 窓口業務における外国語対応

平成30年度には、245名の外国人の転入が

議会活動日誌

9月30日～10月1日

新潟県町村議会議長会議（阿賀町）

3日 認定こども園運動会

4日 熊本県あさぎり町議会行政視察対応

6日 産業建設常任委員会 管内視察

8日 南魚沼市 南魚沼市協会の第40回展記念事業式典（南魚沼市）

11日 産業建設常任委員会視察研修（福島・山形）

17日 議会広報常任委員会

18日 湯沢町高齢者福祉大会

20日 こらっしやい湯沢・収穫祭

23日 新潟県新発田市議会行政視察

24日 議会広報常任委員会

25日 越後湯沢駅東口駅前広場運用検討会議

26日 生活福祉常任委員会

28日 湯沢町教育フェスティバル

29日 南魚沼地域合同除雪出動式（南魚沼市）

30日 都市計画審議会

31日 産業建設常任委員会

31日 新潟県民福祉大会（南魚沼市）

31日 富山県黒部市議会行政視察

31日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会（八色園）

11月1日 監査委員全国研修会（東京）

3日 総務文教常任委員会

5日 湯沢ふれあい福祉健康フェスティバル

7日 議員全員協議会

7日 総務文教常任委員会（湯沢発電所視察）

町村長との意見交換会

新潟県町村自治に関する研修会（新潟）

あった。ほとんどは、町内スキー場などで働くことを目的に湯沢町に来ており、手続き時には日本語の分かるスタッフの同行があるため、スムーズに対応できている。

Q 転出する人はどれくらいいるのか。

A スキーシーズンが終わると、他の仕事のために異動したり帰国したりする人が多い。正確な数字は把握していないが、転入とほぼ同数が転出している。

●町税の徴収状況

産業建設常任委員会

10月4日

〈管内視察〉

●温泉通り（駅西口、交差点改良、かななっくり）等の視察



10月20日 越後湯沢駅西口の様子

10月29日

●河川指定手続不備による損害についての陳情（継続審査）

新潟県土木部、湯沢砂防事務所から説明
賛成少数
↓
不採択とすべき

11月22日

●稲作状況、鳥獣被害

稲作状況は、7月後半から8月中旬にかけての高温、フェーン現象により一等米比率が極端に低下。最大の品質低下要因は乳心白粒によるもの。また、鳥獣被害状況は県内中山間地において熊の目撃情報が多発し、人的被害も発生している。

●観光客の入込状況

4月～10月の主要観光施設入込状況、平成30年度宿泊統計調査、観光客消費支出額調査、平成30年度共同浴場別収支など、資料に基づき説明があった。

Q 外国人宿泊数が、県の新聞発表と大きく違っているが。

A 湯沢の調査は全数調査であり、調査内容の違いによるもの。

●DMOへの移行

第1回湯沢町観光推進組織検討ワーキングを10月31日に開催。第2回（12月上旬）、第3回（1月中旬）を経て、3月末には最終報告書の提出を予定している。

●大源太湖・鱒どまり周辺の遊歩道事業

●令和元年度の地域整備部事業の経過

●湯沢駅西口・東口整備事業

●県道改良事業

●冬期除雪事業

〈管内視察〉

●台風19号による災害現場視察

12日～15日

全国町村議会議長会創立70周年記念式典・第63回町村議会議長全国大会・実行運動・議長会議（東京）

地方議会活性化シンポジウム他（東京）

12日

国道353号県境開設促進協議会

15日

湯沢学園生徒海外派遣事業報告会

16日

湯沢発電所開所式

19日

国道353号県境開設促進協議会総会（群馬県・中之条町）

20日

新潟県町村議会議員後期研修会（新潟）

21日

青少年問題協議会

21日

富山県立山町行政視察対応

22日

新潟県後期高齢者医療広域連合会議

22日

産業建設常任委員会（新潟）

22日

現場視察

25日

一般国道353号十二峠新トンネル開削要望会（新潟）

25日

生活福祉常任委員会

26日

湯沢町都市計画審議会

26日

新潟県町村議会広報研修会（新潟）

29日

魚沼地域特別養護老人ホーム組合例会監査（八色園）

30日

キッズスペース「雪ん子」オープン

30日

ングセレモニー

12月3日

神立スノーリゾート 安全祈願祭

5日

ありがとう湯沢・感謝の集い（東京）

6日

議会運営委員会

9日

議会広報常任委員会

9日

湯沢高原スキー場安全祈願祭

10日

議案勉強会

10日

第6回定例会（8日間）

19日

魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査（八色園）

20日

Audi FIS アルペンスキーワールドカップ2020にいがた湯沢苗場大会実行委員会総会

湯沢町議会議員による 新たなホームページを開設しました。



<https://yuzawamachi-gikai.com>

- ・各議員による情報発信の活性化を図ります。
- ・各議員の情報を掲載し、各議員の情報媒体へリンクする計画です。
- ・町への要望、意見をうけたまわります。
- ・議会の月間スケジュールを掲載する予定です。
- ・簡易Webアンケートが実施できるよう検討中です。



南雲正議長 全国町村議会議長会副会長に就任

昨年6月、南雲議長が新潟県町村議会議長会会長に再任され、7月17日に全国町村議会議長会副会長（任期2年）に選任されました。

11月13日にはNHKホールで開催された「全国町村議会議長会創立70周年記念式典」と「第63回町村議会議長会全国大会」に出席し、開会、閉会の挨拶を述べました。



南雲議長挨拶

出張意見交換会

**お申し込み
お問い合わせ先**
湯沢町議会事務局
〒949-6194 南魚沼郡湯沢町大字神立300番地
TEL.025-784-3115 FAX.025-784-3510
Eメール gikai@town.yuzawa.lg.jp

対象 町内において活動するグループ・団体でおおむね10名以上の会合等。

申込方法 申込書に必要事項を記入し、湯沢町議会事務局へご持参いただくか、FAXで送信またはご郵送ください。Eメールで必要事項を送信していただいても受け付けます。

申し込み受け付け後、担当の委員会で検討した上で、開催可否を決定し、ご連絡いたします。

※申込書は、議会事務局に置いてあります。



編集後記

湯沢町にとってどれだけ雪が大切なものか再認識させられる天候が続いています。この議会だよりが配布される頃には、十分な雪があるよう切に期待しております。

今回は、一般質問のQ&A形式を統一して、より読みやすく、各議員の主張がわかりやすくなるよう編集しました。

この冬、少雪であれば、行政と議会とで少雪による収入減少対策を多方向から考え対処しなければならぬと思います。

東京オリンピック開催によって長年夏期に訪れて頂いたお客様が来町することができない状況もあると聞いています。湯沢町からオリンピック観戦ができることを、世界中にPRをして、冬の収入減挽回を考えていかなければならないと思います。

最後に皆様のご健勝とご多幸を祈念致します。

議会広報常任委員会

編集委員 並木利彦

委員長 南雲好幸

副委員長 並木利彦

委員 渡辺千恵

委員 和田一郎

委員 高橋政喜

委員 岸野雅人